

Windows[®] 95

Installation of CentreCOM LA100-PCI V2

©1997 Allied Telesis

目次

1	インストールの前に	3
1.1	Windows95でのインストール手順	3
1.2	Windows95のバージョンの確認	4
	バージョン表記	4
	バージョンの見方	4
2	ドライバーのインストール	5
2.1	準備	5
2.2	インストール手順	5
	インストーラによるドライバーの組み込み	5
	コンピュータへの組み込み	8
	本製品とネットワークケーブルとの接続	8
	リンクの確認	9
	Windows95ファイルのコピー（再起動後）	9
3	インストールの確認とアダプターの設定	11
3.1	デバイスマネージャ	11
	インストールの確認	11
	リソースの確認	13
3.2	ネットワーク（コントロールパネル）	14
	ネットワーク環境の設定	14
	ドライバの設定	14
3.3	ネットワークメディアの設定	15
4	登録内容の削除と再インストール	17
4.1	ドライバーの削除	17
4.2	再インストール	19
5	トラブルシューティング	20
5.1	デバイスマネージャでのエラー	20
5.2	再インストールの手順	21
5.3	使用許可の切り替え（Version Bのみ）	21
5.4	リソース値重複の回避	22

1 インストールの前に

1.1 Windows95 でのインストール手順

本製品を Windows95 でご使用いただく場合、付属のインストーラの仕様により、拡張スロットに本製品を取り付ける前に、ドライバーをインストールします。この点は、他のドライバーのインストールと異なるのでご注意ください。

なお、本マニュアルでは Windows95 のインストールは既に完了したものとして説明を進めます。Windows95 のインストールがまだお済みでない場合は、別途 Windows95 のマニュアルをご覧の上、Windows95 のインストールを完了しておいてください。

本製品用ドライバーをインストールする手順は以下の通りです。具体的な手順は次ページ以降をご覧ください。

1. 本製品付属のドライバーディスク(Windows 用)から、ドライバーをインストールします。インストールには専用のインストーラ(inst95.bat)を使用します。
2. コンピュータの電源を切断し、本製品をコンピュータの拡張スロットへ取り付けます。
3. コンピュータに電源を再び投入し、Windows95 に本製品を認識させます。再起動後、必要に応じてネットワークに関する設定を行います。

1.2 Windows95 のバージョンの確認

まず、ご使用の Windows95 のバージョンをご確認下さい。ドライバーをインストールする手順は、Windows95のバージョンに関わらずほぼ同じですが、表示される画面や注意事項などが異なります。

バージョン表記

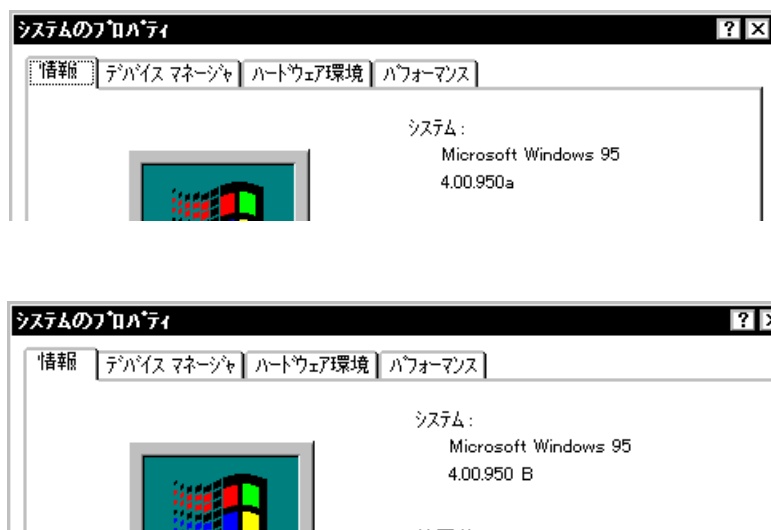
本マニュアルでは Windows95 のバージョン表記を以下のように規定します。

Version 950	Windows95 Ver.4.00.950
Version A	Windows95 Ver.4.00.950a
Version B	Windows95 Ver.4.00.950 B ^注

注 Version B は、他に OSR α = OEM Service Release 2)や Type B などの呼称が存在しますが、本書では "Version B" に統一します。

バージョンの見方

Windows95 のバージョンは「システム (コントロールパネル) で確認します。「スタート」「設定」「コントロールパネル」「システム」「情報」と進み、「システム:」の番号をご覧ください。"4.00.950" であれば Version950、"4.00.950a" であれば Version A、また "4.00.950 B" の場合は Version B (OSR2)です。



画面 3.1 Windows95 のバージョン表示 (上: Version A、下: Version B)

2 ドライバーのインストール

2.1 準備

インストールを始める前に、以下のものをご用意下さい。

1. LA100-PCI-T V2 本体、ネットワークケーブル、ハブなど
2. コンピュータ(Windows95 インストール済み)
3. Windows95 のマスターディスク(CD-ROM またはフロッピーディスク)

プリインストール版Windows95をご使用の場合は必要なファイルが予めハードディスクにコピーされていますのでマスターディスクは必要ありません。

重要 ご使用のコンピュータのOSがプリインストール版であり、バックアップCD-ROMをお持ちでない場合は、安全のために必ずフロッピーディスクにバックアップを取った後でドライバーのインストールを開始してください。

4. LA100-PCI-T V2 ドライバーディスク「Windows 用」(本製品付属)

注意 ドライバーディスクは「Windows 用」「AT 互換機用」「PC-98 用」の3枚が用意されていますのでご注意ください。(「AT 互換機用」および「PC-98 用」はWindowsNT/95 以外のOSおよびネットワークOSに使用します。)また、ドライバーは常に最新のものをご使用下さい。最新のドライバーの入手方法は「付録S 最新ドライバーソフトウェアの入手方法」をご覧ください。

2.2 インストール手順

この段階では、まだ本製品をコンピュータの拡張スロットに取り付けないでください。

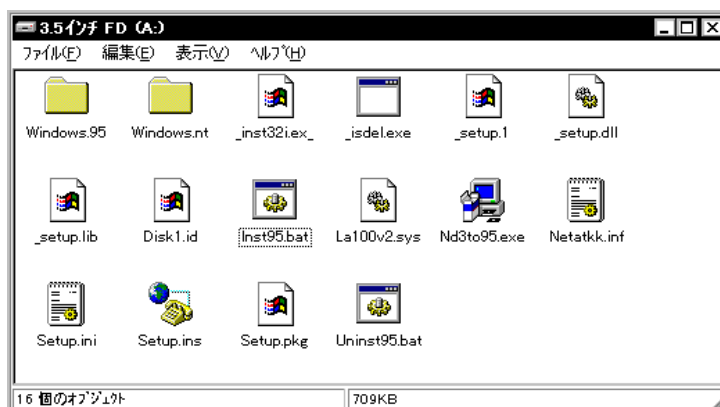
それでは、インストールを始めます。ここに挙げた手順は一例です。お客様の環境によっては、手順が若干異なることがあります。本書に掲載した画面はAT互換機のもので、PC-98シリーズの場合はディスクドライブ名が異なります。

インストーラによるドライバーの組み込み

1. コンピュータの電源を入れ、Windows95 を起動します。
2. ドライバーディスク(Windows 用)をフロッピーディスクドライブに挿入し、インストーラ "inst95.bat" を起動します。起動の方法には以下のようなものがあります。

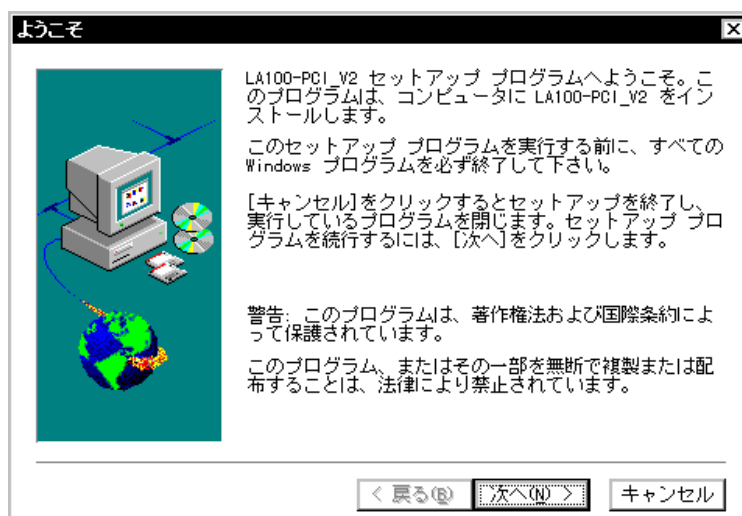
「スタート」 「ファイル名を指定して実行(R)」と進み、"inst95.bat"を指定する

"inst95.bat" アイコン(画面 3.2 参照)をダブルクリックする



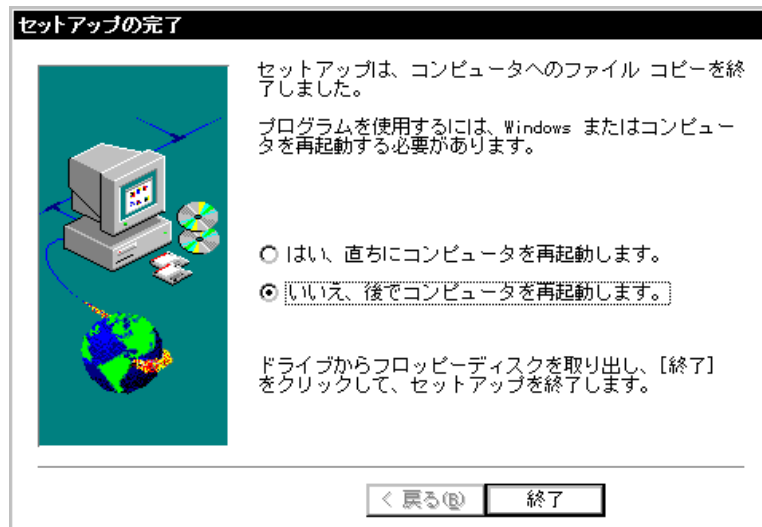
画面 3.2 inst95.bat アイコン

3. インストーラが起動します。内容をよく読んだ上で、「次へ」をクリックしてください。



画面 3.3

4. ドライバーおよび関連ファイルがハードディスクにコピーされます。終了すると下のダイアログが表示されます。コンピュータを再起動するかを尋ねられますので、ここでは、「いいえ、後でコンピュータを再起動します。」を選択し、「終了」をクリックします。



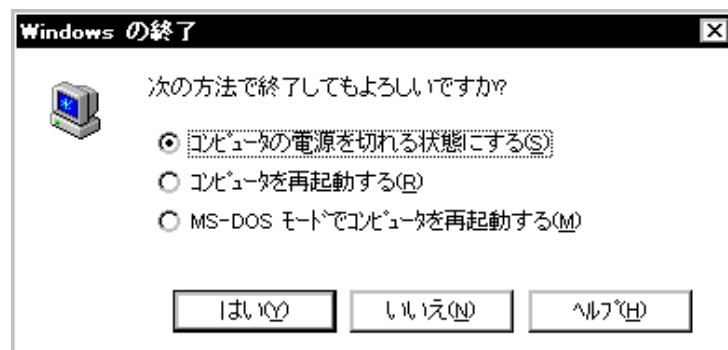
画面 3.4

5. 「終了」をクリックし、インストーラを終了します。



画面 3.5

6. 「スタート」「Windowsの終了」と進み、「Windowsの終了」ダイアログで「コンピュータの電源を切れる状態にする」を選択し、「はい」をクリックしてください。



画面 3.6

コンピュータへの組み込み

アダプターをコンピュータに取り付けます。コンピュータ本体のカバーの取り外し・アダプターの取り付けの詳細は、ご使用になるコンピュータのマニュアルをご覧ください。

7. コンピュータの電源をきる準備がととのったら、ドライバーディスクを取り出して電源をオフにしてください。
8. 安全のためにコンピュータの電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

コンピュータの拡張スロットに本製品を実装する作業は、必ずコンピュータの電源を切って行ってください。電源を投入したままこの作業を行うとコンピュータや本製品の故障の原因となることがあります。

9. コンピュータの本体カバーを外してください。
10. スロットカバーを固定しているねじを外し、スロットカバーを外してください。
11. 本製品を拡張スロットにしっかり奥まで挿し込んでください。
12. 10.で外したねじを使用して、本製品を固定してください。このねじは必ず取り付けてください。

本製品とネットワークケーブルとの接続

13. ご使用の環境に合ったネットワークケーブル(ツイストペアケーブル)を用意します。詳細は以下をご覧ください。

100BASE-TX 用

必ず**カテゴリ5**のケーブルをご使用ください。カテゴリ5以外のケーブルを使用した場合、「リンクできない」、「通信でエラーが発生する」、「通信できない」などの障害が発生します。ツイストペアケーブルのカテゴリは、外見では識別できないので、何種類ものカテゴリのケーブルを混在して使用している場合は特にご注意ください。

10BASE-T 用

カテゴリ5、4、3のケーブルを使用することができます。

14. ネットワークケーブルの一方の端に付いたモジュラープラグを本製品のRJ-45モジュラージャックに、カチッと音がするまで挿し込んでください(両端のプラグのどちらでも構いません)。
15. ネットワークケーブルを引っ張ってみて抜けないことを確認してください。
16. ネットワークケーブルのもう一端のモジュラープラグをハブのコネクター(UTP)に挿し込んでください。手順は、上記14.、15.と同様です。

リンクの確認

17. ハブとコンピュータの両方に電源を投入し、本製品のLINK LEDとハブのLINK OK LEDの両方が点灯することを確認します[†]。点灯が確認できれば、ネットワークへの接続は正常に完了しています。

[†] "LINK OK" LEDの名称はハブの機種により異なります。また、"LINK OK" LEDを持たない機種もありますので詳細はハブのマニュアルでご確認ください。

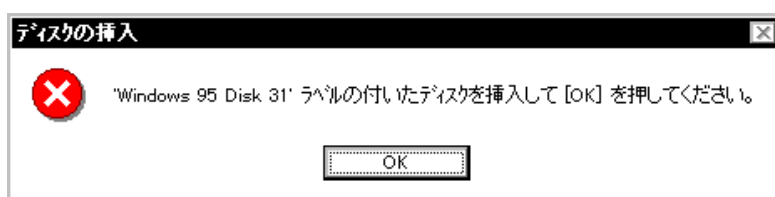
どちらか一方しか点灯していない、または両方が消灯している場合は本製品とハブは正しくリンクしていません。その場合はご使用のネットワークケーブルがしっかり接続されていない、または断線している、あるいは適切なものを使用していないなどの原因が考えられます。ケーブル類の接続をし直す、ケーブル類を交換してみる、ハブのポートを入れ替えてみるなどの対策を行ってみてください。

Windows95 ファイルのコピー（再起動後）

18. コンピュータへの取り付け、配線が完了したら、再びコンピュータに電源を投入します。Windows95はPlug&Play機能により、本製品を「PCI Ethernet Controller」および「LA100-PCI_V2 Ethernet Adapter」として検出します[†]。

[†] ご使用のコンピュータに初めてLANアダプターをインストールする場合は、ここでコンピュータをネットワーク上で識別するための情報（コンピュータ名、ワークグループ名、コンピュータの説明）の入力を促すダイアログが表示されます。詳細はシステム管理者にご確認ください。なお、このダイアログの内容をインストール終了後に変更するには、「ネットワーク」(コントロールパネル)を起動し、「ユーザー情報」タブを選択して下さい。

19. 必要なWindows95ファイルのコピーが始まります。Windows95のマスターディスクが要求されますので(画面3.7参照) ご使用の形態に応じて以下のようにパスを入力します。



画面3.7 マスターディスクの要求

プリインストール版 Windows95 の場合

この場合はWindows95ファイルが既にハードディスクにコピーされています。画面上ではディスクを入れるように要求されますが、そのまま「OK」をクリックしてダイアログを閉じ、「C:\%windows%\options\cabs」を指定してください。(ここではWindows95の起動ディスクパーティションをC:と仮定します。)

機種によっては%windows%\options\cabsと異なる場所に保存されていることもあります。その場合はコンピュータのマニュアルをご覧になるか、検索コマンドにより拡張子「cab」のファイルが存在するディレクトリを探し、そのディレクトリパスを指定してください。

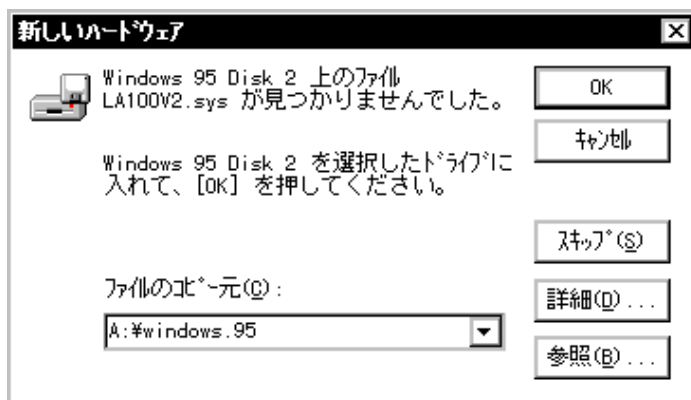
CD-ROM の場合

CD-ROM をドライブに挿入し、「E:¥WIN95」を入力してください。
(ここでは、CD-ROM ドライブを E:と仮定します。)

フロッピーディスクの場合

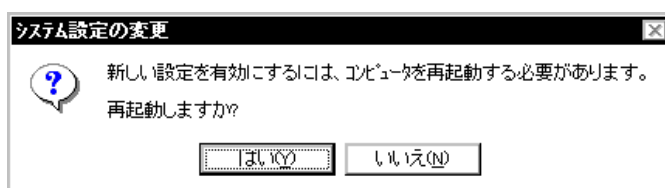
指示された番号のディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、「ファイルのコピー元 (C):」で「A:¥」を入力してください。(ここではフロッピーディスクドライブを A:と仮定します。)

20. **重要** 場合によっては下のようなダイアログが表示されることがあります。このとき、ファイル "LA100V2.SYS" は Windows95 のマスターディスク上のファイルとして説明されていますが、実際にはドライバーディスクの中に収められています。 ドライバーディスクをディスクドライブに挿入し、ディレクトリとして「A: ¥windows.95」(または「A:¥」)を入力してください。(ここでは、フロッピーディスクドライブを A:と仮定します。)



画面 3.8 LA100V2.SYS の要求 (例)

21. 「システム設定の変更」が表示されます[†]。「再起動しますか?」という問いに対して、「はい (Y)」をクリックし、(フロッピーディスクが入っている場合は取り出して) コンピュータを再起動します。



画面 3.9 システム設定の変更

† ご使用のコンピュータに既に他の LAN アダプターのドライバー (ダイヤルアップアダプタ等) がインストールされている場合、このダイアログは表示されません。この場合も必ず再起動して本製品のドライバーを有効化してください。

22. 以上でアダプターのインストールは終了です。引き続き、「3 インストールの確認とアダプターの設定」にお進みください。

3 インストールの確認とアダプターの設定

再起動したら、始めにドライバーのインストールが正常に行われていることを確認し、さらに必要な設定を行います。

3.1 デバイスマネージャ

インストールの確認

まず、「システム」(コントロールパネル)をダブルクリックし、「デバイスマネージャ」を表示します。インストールが正常に行われていれば「ネットワークアダプタ」の下に「Allied Telesis LA100-PCI_V2 Ethernet Adapter」が表示されます。



画面 3.10 デバイスマネージャ

† Windows95 VersionB では「閉じる」は「OK」となります。

これらのアイコンに「x」「?」「!」などのマークがついていたり、あるいはアイコンが「ネットワークアダプタ」の下ではなく「不明なデバイス」や「その他のデバイス」にある場合は、インストールに失敗しています。詳しくは「5 トラブルシューティング」をご覧ください。

次に、デバイスマネージャで「Allied Telesis LA100-PCI_V2 Ethernet Adapter」(画面 3.10 参照)を選択(反転表示)し、「プロパティ」「情報」と進みます。「デバイスの状態」で「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることをご確認ください。



画面 3.11 デバイスの状態 (Version 950/A)



画面 3.12 デバイスの状態 (Version B)

Windows95 VersionB をご使用の場合(画面 3.12)は「ドライバ」タブが用意されています。この「ドライバ」を表示した場合、下のように「このデバイスには、ドライバファイルは必要でないか、または組み込まれていません。」という記述がありますが、これは本製品の仕様によるもので、ご使用には支障ありませんので安心してご使用ください。



画面 3.13 「ドライバ」タブ

リソースの確認

本製品が使用する I/O ベースアドレス、インタラプト (IRQ) などのリソースは、Windows95 によって自動的に設定されます。これらの値を確認するには「デバイスマネージャ」「ネットワークアダプタ」「Allied Telesis LA100-PCI_V2 Ethernet Adapter」「プロパティ」「リソース」と進んで下さい。



画面 3.14 リソースの確認

3.2 ネットワーク（コントロールパネル）

ネットワーク環境の設定

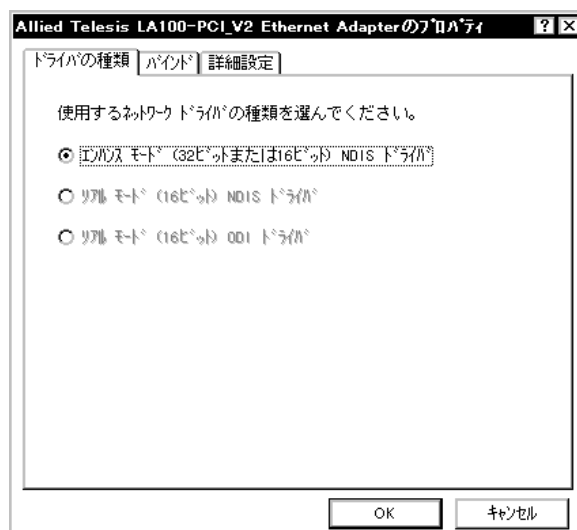
次に、「コントロールパネル」の「ネットワーク」を起動し、使用するプロトコル、クライアントなどの設定を行います。詳細はネットワーク管理者にご確認ください。



画面 3.15

ドライバの設定

次に、本製品に関する設定を行います。画面 3.15 で「Allied Telesis LA100-PCI_V2 Ethernet Adapter」「プロパティ」「ドライバの種類」と進み、「エンハンスモード（デフォルト）」に設定します。



画面 3.16 リソースの確認

注 画面 3.15 はWindows95 VersionB のものです。Version950 および VersionA の場合は「アクセス権の管理」タブはありません。

3.3 ネットワークメディアの設定

次に、「詳細設定」タブでネットワークメディア(ネットワークケーブルおよび通信モード)の設定を行います。「値(V)」リストからご使用の環境に合ったものを選択します。詳細はシステム管理者にご確認ください。



画面 3.17 ネットワークメディアの設定

各項目の意味は以下の通りです。

100BaseTx

100Mbps の Half duplex(半二重)モードに設定します。

100BaseTx Full_Duplex

100Mbps の Full duplex(全二重)モードに設定します。

10BaseT (Twisted_Pair)

10Mbps の Half duplex(半二重)に設定します。

10BaseT Full_Duplex

10Mbps の Full duplex(全二重)に設定します。

AutoSense(デフォルト)

Auto-negotiation を有効(Enable)に設定します。この項目を選択した場合、対向機器の仕様によって動作は以下のように変わりますのでご注意ください。(Auto-negotiation についての詳細は第 1 部「 5.3 Auto-negotiation 機能について 」をご覧ください。)

対向装置が Auto-negotiation をサポートしている場合

可能な最高の速度(10/100 Mbps)およびモード(Full/Half duplex)となります。

対向装置が Auto-negotiation をサポートしていない場合

対向装置が Auto-negotiation 機能をサポートしていない場合にこの「 Auto Sense 」を選択すると、ネットワークメディアは通信速度(100/10 Mbps の別)のみ自動的に検出し、検出された速度の Half duplex モード となります。したがって、対向機器が 100Mbps の Full duplex モードをサポートしていても Auto-negotiation 機能をサポートしていない場合に最高速度(100Mbps Full duplex)を得るためには、前述の「 100BaseTx Full_Duplex 」を選択する必要がありますのでご注意ください。

4 登録内容の削除と再インストール

ドライバーのインストールを一旦完了するとその内容は保存され、次回からはコンピュータを起動するだけで本製品およびネットワークを使用できます。

ドライバーのバージョンアップの場合など、ドライバーを再インストールしたい場合は、この項の手順にしたがって一旦現ドライバーをアンインストールした後に再インストールを行います。（「5 トラブルシューティング」もご覧ください。）

注 本製品をスロットから一時的に外す場合も必ずドライバーをアンインストールしてください。

4.1 ドライバーの削除

ドライバーを削除する手順は以下の通りです。

- (1) 「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」と進み、「ネットワークアダプタ」の下から項目「Allied Telesis LA100-PCI_V2 Ethernet Adapter」を選択し、「削除(E)」ボタンをクリックしてください。



画面 3.18 ドライバーの削除

- (2) 下のダイアログが表示されたら、「OK」をクリックします。



画面 3.19 デバイス削除の確認

- (3) 「ネットワークアダプタ」のアイコンが消えていることをご確認下さい。

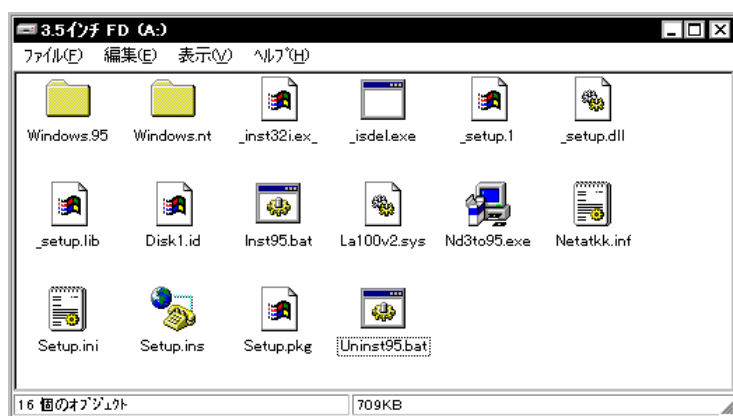


画面 3.20 削除後のデバイスマネージャ

- (4) 「システムのプロパティ」の「閉じる」ボタンをクリックしてください。ここで、「Windows95を再起動するか」を尋ねられますが、「再起動しない」を選択し、そのまま手順(5)にお進みください。
- (5) 続いて、本製品専用のアンインストーラを起動します。ドライバーディスク(Windows用)をフロッピーディスクドライブに挿入し、アンインストーラ "uninst95.bat" を起動します。以下の方法のいずれかを実行して起動してください。

「スタート」「ファイル名を指定して実行(R)」と進み、「uninst95.bat」を指定する。

「マイコンピュータ」「3.5インチFD」と進み、「uninst95.bat」アイコン(画面3.21参照)をダブルクリックする。



画面 3.21 uninst95.bat アイコン

- (6) アンインストーラが終了したら、MS-DOS プロンプトウィンドウを閉じます。以上でアンインストールの手続きは終了ですので、コンピュータの電源を切断し、本製品を拡張スロットから取り外してください。

4.2 再インストール

再び本製品のドライバーをインストールする場合の手順は、初めてインストールする場合と全く同じです。「3 ドライバーのインストール」に戻って再びインストールを実行してください。

5 トラブルシューティング

この項ではドライバーのインストールに伴うトラブルの代表的な例と、その対処法について説明します。

5.1 デバイスマネージャでのエラー

「インストールの確認」にしたがって確認を行った際に「Allied Telesis LA100-PCI_V2 Ethernet Adapter」アイコンの表示が以下のようにになっている場合は、ドライバーのインストールに失敗していますので、ドライバーを一旦削除し、再インストールします。

「ネットワークアダプタ」の項目がない^{†1}

「その他のデバイス」「不明なデバイス」の下にアイコンが表示されている^{†1}

アイコンに「!」「?」「×」マークがある^{†2}



画面 3.24 「？」マークがついている状態

-
- †1 この場合、以下のような操作を行ったことが考えられます。
ドライバーインストールの作業中に行われる netapi.dll などの Windows95 関連のファイルのインストールをキャンセルしてしまった。
画面 3.8 (LA100V2.SYS の要求)において「キャンセル」をクリックした。
- †2 「？」マークがアイコンについている場合、本製品付属のインストーラを実行する前に本製品を拡張スロットに装着し、Windows95 を起動した可能性があります。
- †3 Windows95 VersionB 使用時に「×」マークがついている場合は、後述の「5.3 使用許可の切り替え」もご覧ください。
-

5.2 再インストールの手順

- (1) 不正にインストールされた「Allied Telesis LA100-PCI_V2 Ethernet Adapter」アイコンを選択し、「削除(E)」ボタンをクリックしてください。
- (2) 「デバイス削除の確認」ダイアログが表示されます。「全ての設定から削除(A)」を選択し、「OK」をクリックしてください。
- (3) 「ネットワークアダプタ」のアイコンが消えていることをご確認下さい(画面3.20「削除後のデバイスマネージャ」参照)。
- (4) 「システムのプロパティ」の「閉じる」ボタンをクリックしてください。
- (5) コンピュータを再起動します。以後、「2.2.2 Windows95 ファイルのコピー(再起動後)」以降の手順を再び実行してください。

5.3 使用許可の切り替え (Version B のみ)

Windows95 VersionB の場合、アイコンに「x」マークがある場合は「デバイスの使用不可」に設定していることも考えられます。この場合は以下の手順にしたがって使用許可の状態を切り替えると本製品を使用できるようになります。

1. 「Allied Telesis LA100-PCI_V2 Ethernet Adapter」を選択(反転表示)し、「プロパティ」をクリックし、「情報」タブを表示します。
2. 「このハードウェア環境で使用不可にする」のチェックを外してください。



画面 3.25 デバイスの使用許可の切り替え

5.4 リソース値重複の回避

「5.2 再インストールの手順」の手順にしたがってドライバーの削除および再インストール作業を行っても、なおアイコンに「?」、「!」、「×」マークが付いている場合は、他の拡張アダプターとリソースの値が重複している可能性があります。

特に、Plug & Play に対応していない他の拡張アダプターを本製品とともに使用している場合は、その拡張アダプターが使用するリソース値を Windows95 に予め登録「予約」と呼びます) し、その値が他の Plug & Play 対応デバイス(本製品を含む)によって使用されないように設定しておく、値の重複を回避できます。

リソース値を予約する手順

- (1) Plug & Play 非対応の拡張アダプターが使用するリソースの値(インタラプト(IRQ)、I/O ベースアドレス、メモリ、ダイレクトメモリアクセス(DMA))を調べておきます。詳細は、その拡張アダプターのマニュアルをご覧ください。または、メーカーにお問い合わせください。
- (2) 「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」「コンピュータ」「コンピュータのプロパティ」パネル「リソースの予約」と進みます。
- (3) 該当する項目を選択し、「追加(A)..」をクリックします。画面の指示にしたがって予約するリソースの値を登録してください。



画面 3.26 リソースの予約(起動時)

ご注意

- (1) 本マニュアルは、アライドテレシス(株)が作成したもので、全ての権利をアライドテレシス(株)が保有しています。アライドテレシス(株)に無断で本書の一部または全部を複製することを禁じます。
- (2) アライドテレシス(株)は、予告なく本マニュアルの一部または全体を修正、変更することがありますのでご了承ください。
- (3) アライドテレシス(株)は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- (4) 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©1997 アライドテレシス株式会社

商標について

CentreCOM、CentreNET はアライドテレシス株式会社の登録商標です。

Windows、Windows NT、MS-DOS は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

PC/TCP は米国 FTP Software, Inc. の登録商標です。

Ethernet は富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

NetWare は米国 Novell, Inc. の商標です。

Sun は米国 Sun Microsystems, Inc. の登録商標です。

IBM, OS/2 は IBM Corporation の商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

マニュアルバージョン

1997年12月17日 Ver. 1.0 pl.0 初版